

別添 3

目標の達成状況等の評価（自然環境整備計画（国立公園・国定公園等整備事業））

都道府県名		愛知県		対象地域名	天竜奥三河国定公園、愛知高原国定公園、飛騨木曾川国定公園（東海自然歩道）			評価年度	令和 5 年度		
事業実施期間		平成 30 年度～令和 4 年度		事業費	120,830 千円			（うち国費 54,373 千円）			
事業の実施内容		<p>天竜奥三河国定公園及び愛知高原国定公園の東海自然歩道について、老朽化や災害等で危険となった施設の再整備を実施し、利用者の安全性、利便性の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公衆便所、木橋、棧橋、手摺（鉄橋、鋼製階段等）の再整備。 									
目標の達成状況	整備計画策定時に設定した目標に対する事業の効果の発現状況	<p>東海自然歩道について老朽化した公衆便所の再整備を行うことで利用者の利便性向上を図ることができた。また、危険箇所を解消することで安全快適に歩くことができ、豊かな自然や歴史・文化のふれあいの場としての機能を確保することができた。その結果、施設利用者数の増加がみられ効果を発揮した。</p>									
	目標を定量化する指標の達成状況	当初の指標	指標	単位	定義	従前値	目標値	達成値	達成値の評価		
						基準年度	目標年度	達成年度			
		その他の指標	施設利用者数	人/年	東海自然歩道愛知県全線の利用者数	194,500	204,200	230,300	達成値が目標値を上回っていることから、事業実施による効果が発現されたと評価できる。		
						H24～H28平均	R5	H30～R4平均			
整備に伴う取り組みの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方公共団体、NPO、民間事業者等の様々な団体がウォーキングイベント等で活用。 ・ 県や関係市町でパンフレット等を作成し宣伝普及を実施。 										
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理委託先の市町と連携しながら施設を適切に維持管理する。また、日常的な巡視を行い、利用者が安心安全に利用できるよう危険箇所の解消を実施する。 										
今後の取り組み		<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理委託先の市町と連携しながら施設を適切に維持管理する。また、日常的な巡視を行い、利用者が安心安全に利用できるよう危険箇所の解消を実施する。 									

目標の達成状況等の評価（自然環境整備計画（国立公園・国定公園等整備事業））

都道府県名		愛知県		対象地域名		三河湾国定公園（伊良湖休暇村公園施設）		評価年度	令和 5 年度	
事業実施期間		平成 30 年度～令和 4 年度		事業費		4,100 千円		(うち国費 1,845 千円)		
事業の実施内容		三河湾国定公園内の伊良湖休暇村公園施設について、老朽化施設の再整備を実施。 ・老朽化した既存施設（側溝）を撤去し、再整備を実施。								
目標の達成状況	整備計画策定時に設定した目標に対する事業の効果の発現状況		伊良湖休暇村公園施設について、老朽化した施設（側溝）の再整備を行うことで利用者の安全を確保することができ、豊かな自然とのふれあいの場としての機能を確保することができたが、新型コロナウイルス感染症流行の影響により、施設利用者数の減少がみられた。							
	目標を定量化する指標の達成状況	当初の指標	指標	単位	定義	従前値	目標値	達成値	達成値の評価	
						基準年度	目標年度	達成年度		
			計画地区利用者数	人/年	伊良湖休暇村公園施設の利用者数	120,000 平成28年	126,000 令和5年	67,000 令和4年	新型コロナウイルス感染症の影響により、達成値が目標値を下回った。	
	整備に伴う取り組みの実施状況		・地元企業、自然活動団体、休暇村協会、田原市、愛知県による特定外来生物の駆除活動を実施。 ・園地の見どころや自然再生の取り組みを紹介するため、現地の自然環境に詳しい「自然観察サポーター」のガイドによる自然観察会を毎週1回程度実施。							
今後の取り組み		・「自然観察サポーター」による自然観察会を引き続き実施し、園地等のPRを行う。 ・園地の指定管理者と協力しながら、施設の適切な維持管理を行う。								

別添 3

自然環境整備計画の目標の達成状況等の評価

都道府県名		愛知県		個別地域名		愛知高原国定公園（豊田市旭高原自然活用村）		評価年度	令和 5 年度		
事業実施期間		平成 30 年度～平成 31 年度		事業費		92,133 千円		(うち国費 41,459 千円)			
事業の実施内容		<p>豊田市旭高原自然活用村施設については、慢性化した駐車場不足を解消するため新規に駐車場の整備を実施。</p> <p>H30 駐車場整備（第3期）内容：造成 第2駐車場 H31 駐車場整備（第4期）内容：造成、舗装 第2駐車場 ※H28 駐車場整備（第1期）内容：造成 第3駐車場 H29 駐車場整備（第2期）内容：造成、舗装 第3駐車場</p>									
目標の達成状況	整備計画策定時に設定した目標に対する事業の効果の発現状況	豊田市旭高原自然活用村施設については、慢性化した駐車場不足を解消するため、新規に駐車場の整備（第2駐車場36台、第3駐車場64台）を実施し、令和2年度からの全面供用を開始し、国定公園利用者への利便提供を行った。									
	目標を定量化する指標の達成状況	当初の指標	指標	単位	定義	従前値	目標値	達成値	達成値の評価		
						基準年度	目標年度	達成年度			
		その他の指標	施設利用者数170,000	人/年	旭高原公園施設野営場、運動場等の利用者数	161,693	170,000	58,149	新型コロナウイルス感染症の影響により、達成値が目標値に達しなかったものの、多くの利用があった営業日において、駐車場が満車になることはなく、駐車場不足を解消したと評価できる。		
						H26	H31	R04			
整備に伴う取り組みの実施状況	上記駐車場の供用開始 36台（平成30年4月から第3期工事発注まで） 第3駐車場の供用開始 64台（平成28年～平成29年まで）										
今後の取り組み	指定管理施設として、適正な維持管理を行う。 整備に伴い、施設HPやパンフレット、案内看板に各施設を明記して、利用促進を図る。										